

宣 言

東日本大震災からの二年間、仙台市小学校長会は、「地域とともに歩む学校」を目指し、組織を挙げて教育による復興に取り組んできた。保護者や地域住民、仙台市教育委員会との緊密な連携を一層強めるとともに、校長会の英知を結集して被災校への支援、震災記録集や実践記録集の発刊、復興プロジェクトの取組、新たな防災教育の確立等に邁進してきた。

これらの活動を牽引したのは、私たち校長一人一人の復興にかける情熱と全国の校長会からの支援である。

仙台市小学校長会は、結成以来、小学校教育の重要性を深く認識し、その充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

本年度開催される第六十七回指定都市小学校長会研究協議会仙台大会においては、大会主題「夢と希望をもち、たくましく生きる子どもをはぐくむ学校経営の推進」のもと、様々な視点から校長の学校経営について協議することが求められている。併せて、東日本大震災からの創造ある復興を進めてきた校長会の取組を発信し、全国からの励ましに報いていくことが求められている。

そのためにも、私たち校長自身が職責と使命の重大さを自覚するとともに、校長会の組織を通して共助の精神のもと、力を合わせ創意と活力に満ち、学校・家庭・地域が一体となった学校経営を促進する必要がある。この取組そのものが、市民の信託に応えることにもなるのである。

私たちは、ここに、仙台市小学校長会として会員の総力を結集し、左記事項の実現に全力を傾注することを、第六十五回総会の総意をもって宣言する。

記

- 一、被災児童の就学確保と教育諸条件のさらなる整備・充実を図り、「校長の思い」の実現に向け、「地域とともに歩む学校」の推進に努める。
- 一、震災からの復興に向けて、人との関わりを大切にしながら「仙台自分づくり教育」及び「新たな防災教育」の一層の推進に努める。
- 一、基礎・基本となる知識や技能を習得させ、これらを活用する力を育成する教育課程の編成と実施及び評価・改善に努める。
- 一、校長自らが研鑽し、学校経営の責任者として教職員の専門性を高め、資質・能力の向上に努める。
- 一、児童一人一人を大切にする特別支援教育の推進に努める。
- 一、指定都市小学校長会研究協議会仙台大会において、被災地の校長会としての取組を発信し、情報を交換し合うことで課題を共有し課題解決に向けた新たな取組を明らかにする。

平成二十五年四月二十六日

仙台市小学校長会 第六十五回 総会